

この読書リーフレットは、令和元年度
平田村立小平こども園の読書啓発のた
めに作成しました。



問合せ先：平田村立小平こども園
〒963-8114 福島県石川郡平田村大字小平字入山83番地
TEL・FAX 0247-54-2003



絵本のある子育てのために

絵本の「力」が子どもの「生きる力」を育てます

平田村立小平こども園



絵本をとおして育む親子の絆



「絵本の読み聞かせ」は親子の絆を深めます

絵本の魅力は、物語の中の主人公の気分になれたり、ドキドキ・ワクワクと一緒に体験できたりすること。親子で一緒に読むことでその楽しさは倍増！そして、その時感じたぬくもりや共感、いくつになっても子ども達の記憶から色あせることはありません。

また読書習慣は、「絵本が好き」というだけでは形成されません。特に乳幼児期にどれだけの絵本を手にし、読み聞かせしてもらったか、それによって読書習慣は形成されていくものだと思います。今日読んだ一冊が、お子さんの未来を変えていくかもしれません。親から本を読んでもらった経験がある子は、その子が親となった時、きっとあなたのように読み聞かせをする素敵な親になっていることでしょう。



子どもが絵本好きになるための5つの工夫！

「子どもが絵本を好きになるには、どうしたらいいんだろう…。」というお悩みを持つ保護者のみなさん！そんなときは、この5つの工夫をぜひ試してみてください！ほんの少しでも変化があればチャンスです。変化を見逃さず、お子さんとの読書ライフを楽しみましょう！

「読みなさい」と言わない

何事も強制されたことには、前向きになれないものです。「楽しい」と思える空間づくりを！

子どもの手の届く場所へ絵本を

階段、トイレ、テレビ横どこでもいいんです。絵本がいつでも手の届く場所にあることが大事！

子どもに絵本を選ばせる

大人が準備する絵本もいいですが、やっぱり子ども自身が興味を持った絵本がいい！

なんといっても「家読」を楽しむ

お家の方々のひざの上で、温かなぬくもりを感じながら見る絵本は何物にも替えられないはずです！

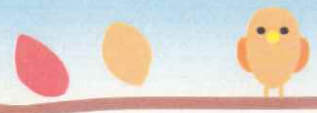
親子で一緒に本屋・図書館へ

本屋さんや図書館には選り抜かれた絵本がいっぱい！親子で行くから、楽しいんです！



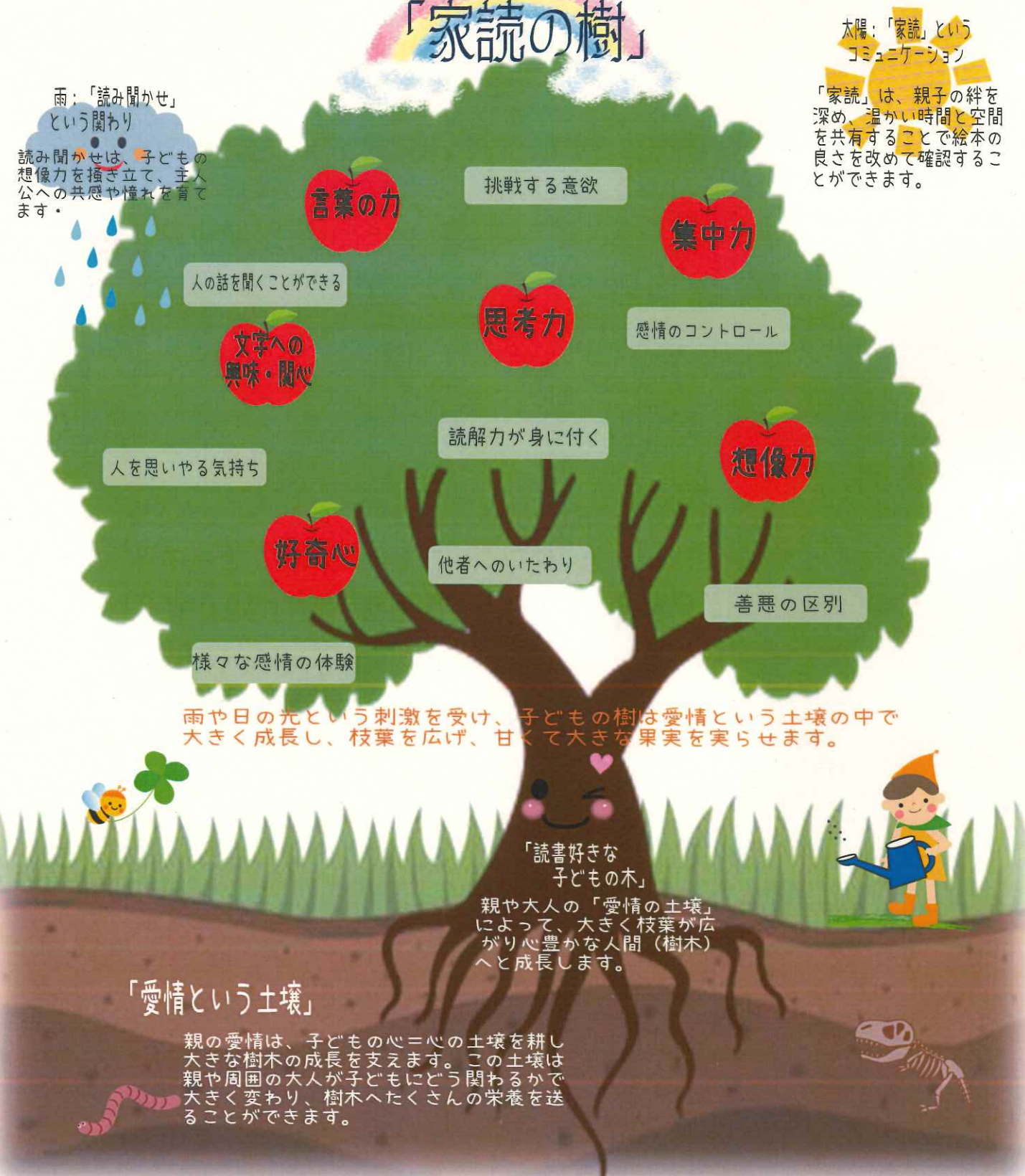
絵本は表現の「ごちそう」です！読んで無駄になることはひとつもありません。

「家読」が「生きる力」を育む



小平こども園では「家読」を推奨し、心豊かな人間形成のために幼児期からの読書活動を推進しています。「家読」によって育まれる「6つの力」は、様々な「人」の関わりをもとに大きな甘い果実となり、子ども達の「生きる力」の育成を助長します。

「家読の樹」



「家読」は、親子の絆を深め、温かい時間と空間を共有することで絵本の良さを改めて確認することができます。

雨や日の光という刺激を受け、子どもの樹は愛情という土壌の中で大きく成長し、枝葉を広げ、甘くて大きな果実を実らせませす。

「読書好きな子どもの木」
親や大人の「愛情の土壌」によって、大きく枝葉が広がり心豊かな人間（樹木）へと成長します。

「愛情という土壌」
親の愛情は、子どもの心＝心の土壌を耕し大きな樹木の成長を支えます。この土壌は親や周囲の大人が子どもにどう関わるかで大きく変わり、樹木へたくさんの栄養を送ることができます。